

『金鯰叢書』 史学美術史論文集 掲載論文目録

第一輯（昭和四十八年度）

「金鯰叢書—史学美術史論文集—」刊行に当って

◇徳川 林 政 史 研 究 所

江戸城西丸の再建と用材

林野利用における慣習

わが国における民有択伐林の復原と構造に関する考察

信州飯田藩領における私有林の成立過程

近世における入会確立過程（遺稿）

——村有林の経営成功の遠因——

「三方領知替」と上知令

馬喰町貸付役所の成立

人口学的指標における階層間の較差

——濃州西条村の農民——

網吉政権の鉄砲改めについて

——その幕政史上の意義——

近江の村落における長老制度の変質について

徳川 義宣

所 三男

北條 浩

松村 安一

筒井 泰蔵

平沢 清人

北島 正元

竹内 誠

速水 融

塚本 学

原田 敏丸

江戸幕府の諸国・御料巡見使について

大名家格制についての問題点

——官位制を中心に——

「天朝料」の郷村鎮撫

——撰河泉播のばあい——

地租改正事務局の閉局と明治一三年地価修正事業

幕末における幕府代官所の構成と動向

——慶応三年『県令集覧』の分析を中心に——

知多古窯製品の流通販路と用途

江戸時代中期における土豪の土地経営

——尾張海東郡蟹江本町鈴木家の場合——

尾張藩における武教育の伝統と改革

〔史料紹介〕

尾張家中「分限考」（解題）

京都府総合資料館蔵『京都府空明細短冊』

室賀家史料

——北信濃をめぐる戦国文書を中心に——

大館 右喜

松平 秀治

阿部 真琴

丹羽 邦男

村上 直

杉崎 章

太田 勝也

高木 靖文

所 三男

新見 吉治

松平 秀治

◇徳川美術館

將軍家「御成」について (一)

——室町將軍家の御成——

佐藤 豊三

徳川義直家臣団形成についての考察

跡部 佳子

木筆三十六歌仙絵について

——新出史料 彰考館蔵——

徳川 義宣
木下 稔

(阿部四郎五郎家史料)

加藤清正・忠廣史料

池田圖書政長史料の伝来について

徳川 義宣

〔史料紹介〕

尾州家御窯屋

加藤唐三郎家文書

大河内定夫

〔美術鑑賞ノート〕

昭和の名古屋画壇

熊沢 五六

第二輯 (昭和四十九年度)

◇徳川林政史研究所

私藩「御林」の利用形態

——松代藩沓野御林の場合——

所 三男

北信濃における御林と割山

古川 貞雄

木曾山林事件の一考察

——『夜明け前』における「本山官出」について——

北條 浩

旧神宮備林における択伐作業級の推移

松村 安一

林野共同体所有把握への一試論

——最近の「所有」問題をめぐる論争の検討——

大島真理夫

林野入会をめぐる入会主体の一考察

——入会権の主体をめぐる論争——

清水 和邦

尾張の中世的都市における太閤検地と徳川検地

——知多郡大野湊の屋敷検地——

小島 広次

尾張僧録成立考

林 董一

明治初期大名華族の経済基盤

——尾張徳川家の家禄収入——

松平 秀治

近世後期地域別人口変動と都市人口比率の関連

速水 融

名山大沢不封論について

塚本 学

大坂加番制について

松尾美恵子

〔鎖国〕体制成立当初の糸割符に関する一考察

——明暦元年の廃止について——

太田 勝也

〔天朝料〕の郷村鎮撫 (二)

——三丹地方のばあい——

阿部 真琴

明治十年前後における長野県製糸業の存在形態

丹羽 邦男

〔研究ノート〕

天領以後の飛驒北方材の集散について

高瀬 保

元禄期旗本知行割替の一考察

——元禄地方直しと関連して——

深井 雅海

新見吉治先生遺稿

新見 吉治

◇徳川美術館

將軍家「御成」について (一)

佐藤 豊三

——足利義教の「室町殿」と新資料「室町殿行幸御傍記」および「羅華室印」——

徳川義直家臣団形成についての考察 (二)

跡部 佳子

——平岩主計頭親吉を中心として——

尾張徳川家

旧藩古帳にみられる瀬戸焼の記録

大河内定夫

李朝時代

文定王后所願の仏画について

山本 泰一

——館蔵葉師三尊図を中心に——

海北友松画の一考察

木下 稔

——その作品と展開——

大名物茶壺「金花」について

徳川 義宣
石渡はるみ

——呂宋壺の渡来をめぐって——

塵鉢和歌集

徳川 義宣

——加藤忠廣自筆・自詠歌日記——

第三輯 (昭和五十年度)

◇徳川林政史 研究所

近世の林野紛争と公裁

所 三男

——甲州平野村と相州世附村の山論の例——

明治民法の制定と林野入会権

北條 浩

——法典調査会における入会権の問題——

近世中期の大坂材木市場

太田 勝也

——取引規約と「問屋」の仲間議定の検討を中心に——

遠州舟明における幕府の樽木処分

飯岡 正毅

——元禄・正徳期 信州鹿塩・大河原山での本メ仕出しと関連して——

明治期の山村における林野利用と共同体規範

大島真理夫

林野入会における分割利用の慣習について

清水 和邦

戦前期における新宮材経済史

萩野 敏雄

尾張徳川家の藩債処分について

松平 秀治

——木曾材処分に関連して——

歴史人口学を通じてみた江戸時代

速水 融

近世初頭における農民層の存在形態

大館 右喜

——甲斐国逸見筋を中心として——

公儀勤役の選考方法について

松尾美恵子

——大坂加番の場合——

甲斐国における旗本領の上知について

深井 雅海

——寛文元年と宝永二年の上知を中心に——

幕末・明治初年における美濃国(岐阜県)の貢租増徴傾向

丹羽 邦男

播但農民一揆と賤民解放令

阿部 真琴

下伊那八ヶ村連合の成立と地租軽減歎願運動

町田 正三

——下伊那地租軽減運動の展開(第二報)——

〔研究ノート〕

加賀藩の総合的河川改修と長州竹の移入

高瀬 保

公有林造成の一形態

——長野県大沢村有林の場合——

大井 隆男

〔史料紹介〕

彦坂九兵衛光正について

村上 直

与力と同心（遺稿）

新見 吉治

◇徳川美術館

将軍家「御成」について（二）

佐藤 豊三

——『小河御所并東山殿御飭図』と『君台観左右帳記』画人録の一考察——

公刊資料

小河御所并東山殿御飭図

徳川義直家臣団形成についての考察（三）

跡部 佳子

——新史料による平岩親吉の研究——

琉球漆工藝史 序説

徳川 義宣

——漆樹の存在実証を基に——

徳川美術館の香木について

大河内定夫

——伝来の考察と分類——

金剛幢と幢下の友社をめぐって

菅原 壽雄

善光寺縁起絵と善光寺如来画像

山本 泰一

——根津美術館蔵善光寺縁起絵に描かれた如来画像をめぐって——

田中訥言と復古大和絵

木下 稔

——略伝と作品の考察——

續 大名物茶壺の金花について

徳川 義宣

——「金花・松花のあるも名物」——

五郎七焼茶碗について

——中野焼との関係を中心に——

徳川 義宣
石渡はるみ

絵画作品の研究方法について

——作品存在論を基礎にして——

永井 繁樹

〔研究ノート〕

源氏物語繪卷「書風第一類」断簡

——「幻」の断簡か——

徳川 義宣

第四輯（昭和五十一年度）

◇徳川林政史研究所

徳川義親遺影

同 略歴、研究業績（抄）

所 三男

江戸幕府初期の営林事業

——信州伊那山林の場合——

島田 錦蔵

川辺壱番組古問屋組合文書と江戸材木市場

北條 浩

地租改正と林野入会紛争

飯岡 正毅

近世中期の用材生産仕法と採運費

——信州鹿塩・大河原山での元文ノ寛保期仕出しを中心に——

太田 勝也

近世大坂材木市場における「七組仲買仲間」

——仲間規約の検討を中心に——

立石 友男

日本海北部海岸砂丘における砂防植栽

大島真理夫

長野県木曾地方における明治前期の官林境界調査について

近世における一作請山慣行について

——奥能登寺山村の場合を例として——

若林喜三郎

旧里帰農奨励令と都市の雇傭労働

竹内 誠

湖東の門徒と元亀の起請文

高牧 實

幕府拝借金と越後高田藩政

松尾美恵子

——天明朝の幕藩関係——

網吉政権の主体勢力

——神田館家臣団の成立と幕臣化——

深井 雅海

加賀藩の切高仕法について

坂井 誠一

一八世紀における地域

——信州筑摩郡大池村の例から——

塚本 学

尾張僧録の職権について

林 董一

府・藩・県の新制戸籍

阿部 真琴

幕末政情と豪農

——三河国北設楽郡の古橋暉兒をめぐって——

高木 俊輔

明治初期尾張徳川家の経営内容

——東京の帳簿分析による——

松平 秀治

〔研究ノート〕

加賀藩の立山における林産資源の開発

高瀬 保

◇徳川美術館

将軍家「御成」について (四)

——足利将軍の寺家への御成と献物——

佐藤 豊三

徳川義直家臣団形成についての考察 (四)

——成瀬氏・竹腰氏・志水氏——

跡部 佳子

駿府御分物帳に見られる染織品について

徳川 義宣

紅地柳二鞠模様唐織について

大河内定夫

一休和尚の画事

菅原 壽雄

来迎図繡仏の一遺例

——徳川美術館保管阿弥陀三尊来迎図繡仏——

山本 泰一

源氏物語絵巻の面貌描写について

木下 稔

第五輯 (昭和五十二年度)

◇徳川林政史研究所

近世木曾山林の保続対策

所 三男

近世天竜林業地における年季山売買

島田 錦蔵

水戸藩御立山制度に関する一考察

松村 安一

遠州舟明における幕府用材の中継機能

飯岡 正毅

田沢山論における地域的結合

——私領と預所との境にふれて——

塚本 学

官林の成立と初期官林政策

北條 浩

木曾谷山林の官民有区分について

——木曾御料林事件の起因——

町田 正三

林野村落における家普請の実態と変容

大島真理夫

林野入会権と登記制度

清水 和邦

江戸盗妖騒動の政治的影響

竹内 誠

近世西濃農民の移動について

速水 融

——その基礎的指標の検出——

尾張藩の刑場について

林 董一

江戸時代初期対外貿易における幕府の買物

太田 勝也

近世中期における大名普請役

松尾美恵子

——賦課方法に関連して——

紀州藩士の幕臣化と享保改革

深井 雅海

近世幕領における永高制

佐藤 孝之

——北遠地方の事例を中心に——

尾張徳川家の賞典禄収入

松平 秀治

明倫堂文庫の形成

高木 靖文

——その量的側面について——

〔研究ノート〕

幕末維新期の寺子屋

西村 覚良

——美濃国山県郡高富村の習貫堂の場合——

◇徳川美術館

徳川義直家臣団形成についての考察 (五)

跡部 佳子

——大坂の役後の尾張——

新発見の「雑華室印」印記のある画幅と「牧谿猿猴図」の受谷の背景

佐藤 豊三

海北友松「山水図」屏風について

木下 稔

——サンフランシスコ美術館所蔵——

天目茶碗の釉薬と紹鷗所持白天目茶碗

大河内定夫

桃山時代の衣服

徳川 義宣

——新出史料 徳川家康所用——

〔研究ノート〕

徳川家康文書に見られる贈答品について

河原 秀子

第六輯 (昭和五十三年度)

◇徳川林政史研究所

林業労務者と林業村落

所 三男

——近世の木曾山林に見る——

近世天竜林業地における資金流通過程

島田 錦蔵

近江朽木谷の山割について

原田 敏丸

信州伊那谷における年貢樽の代材木納

飯岡 正毅

——千村平右衛門預り所の貢納方法の変革——

木曾地方における官林境界紛争

大島真理夫

——長野村猿沢官林の事例——

明治初年の尾張国(愛知県)における林野所有権の成立

小山田一昭

——定納山所有権をめぐる問題を中心として——

織田信忠の尾張・美濃支配について

小島 廣次

濃尾地方の歴史人口学的研究序説

——史料・人口趨勢・婚姻統計——

速水 融

廣東石灣古窯趾調査

佛山市博物館
徳川義宣 共譯
都染直也

寛文期尾張藩のキリシタン禁制について

清水 紘一

尾張徳川家の分与賞典禄支給状況

松平 秀治

石清水八幡遷座縁起絵と改められる大山崎離宮八幡利生図

山本 泰一

近世初期石見銀山の支配と経営

——大久保石見守長安時代を中心に——

村上 直

〔研究ノート〕
呉須考

大河内定夫

近世前期北遠幕領における年貢収取

佐藤 孝之

綱吉政権の「賞罰厳明」策について

——幕臣団に対する処罰を中心に——

深井 雅海

第七輯 (昭和五十四年度)

◇徳川林政史研究所

近世後期における大名上納金

——公儀普請役の変容——

松尾美恵子

化粧料「木曾山」考

所 三男

長崎貿易における幕府の買物

——いわゆる「長崎御用物」に関する試論——

太田 勝也

近世天竜林業地における年季山の管理経営

——年季山控帳による解析——

島田 錦蔵

明治初年西三河における社会情勢

——古橋日記を中心として——

高木 俊輔

近世中期における「御用木」仕出し

——信州伊那郡大河原山の場合——

飯岡 正毅

明治初期における豪農と土地金融

——現岐阜地域の地域的考察——

丹羽 邦男

加賀藩の御林山と留山

——奥能登寺領内留山伐採願を中心として——

若林喜三郎

◇徳川美術館

将軍家「御成」について (五)

——織田信長と豊臣秀吉の御成——

佐藤 豊三

明治初年の合村と村持林野

庄内地方における地租改正と官林・国有林の形成

立石 友男

瀬戸・美濃地方の呉須絵(染付)の成立について

大河内定夫

明治期公有林野造林政策の展開過程

——愛知県のはあい——

藤田 佳久

茶壺考 序説

——「いはゆる呂宋壺」の産地・製作期・渡來期とその変容——

徳川 義宣

幕藩関係からみた生類憐み政策

小山田一昭

尾張藩「年寄」考

林 董一

『鸚鵡籠中記』の再検討

小池 富雄

尾張の徳川検地

小島 廣次

——編纂書的人格と成立の経緯——

近世濃尾地方農民の人口学的観察

速水 融

金澤文庫古文書「源氏物語色紙形」

徳川 義宣

——四六〇〇組の家族復元を通じて——

声聞形の菩薩を脇侍とする阿弥陀如来像について

山本 泰一

幕藩制解体期における公儀普請役

松尾美恵子

——放光菩薩像と考えられる阿弥陀・観音・地藏像——

——天保ノ万延期の江戸城普請をめぐって——

雪舟筆「山水長巻図」模本一卷について

木下 稔

江戸幕府御庭番と幕政

深井 雅海

——徳川美術館蔵——

——その隠密機能を中心に——

「金澤文庫古文書」に見られる茶器

徳川 義宣

近世前期の年貢収取と農村金融

佐藤 孝之

御深井焼の中断と再興

大河内定夫

——北遠幕領を素材として——

城下町流通構造と商業紛争

飯島 千秋

第八輯（昭和五十五年度）

——上田藩の在町商物一件を中心に——

◇徳川林政史研究所

享保改革期における流作場開発政策と村落

大石 学

近世木曾林業の基盤

所 三男

——下利根川流域野木崎村を中心に——

——享保改革期を中心として——

〔史料紹介〕

加賀藩林制の成立について

高瀬 保

近世天竜林業地における年季山の管理経営

島田 錦蔵

◇徳川美術館

将軍家「御成」について (六)

佐藤 豊三

——他村年季山控帳による解析——
山国林業地帯における人工造林の進展と育林技術の変遷

本吉瑠璃夫

——徳川将軍家の御成 その一——
徳川幕府創始期の御成

近世における育林技術体系の地域性

藤田 佳久

徳川義直家臣団形成についての考察 (六)

跡部 佳子

近世中期の幕府造林政策と村方の対応

佐藤 孝之

——在地武士衆と奉行衆——

——宝暦ノ安永期、北遠地方を事例として——

天竜川舟明渡場における御用樽の「返り木」

飯岡 正毅

木曾山林官民有区別をめぐる諸対立

尾張藩「年寄」考

尾張徳川家における賞典禄の運用

大名の殿席と家格

寛政改革期前後における御庭番の活躍

松平乗邑体制の歴史的性格

享保改革後期における財政機構の特質

加賀藩改作法と「草高百石改作入用^{つくり}」

静岡藩の成立と財政

京都町方の宗門改帳

白木考

〔研究ノート〕

白木考

——中部山岳地帯における生産と流通——

◇徳川美術館

将軍家「御成」について (七)

——徳川将軍家の御成 その二——

徳川幕府確立期の御成

一連の徳川家康の偽筆と日課念佛

——偽作者を周る人々——

大島真理夫

林 董一

松平 秀治

松尾美恵子

深井 雅海

大石 学

大友 一雄

坂井 誠一

飯島 千秋

速水 融

横山 篤美

佐藤 豊三

徳川 義宣

文献より見た「似絵」

金澤文庫古文書「源氏物語色紙形」補訂

日高川草紙絵巻にみる伝統と創造

見返し絵のある中国の紺紙金字法華経

——徳川美術館蔵——

第九輯 (昭和五十六年度)

◇徳川林政史研究所

徳川林政史研究所運営方針

明治前日本における林政史

木曾の御免白木

近世天竜林業地における年季山の原初形態

——青山家の年季山古帳による解析——

飛驒「御林山」の一考察

山国林業地帯における林野所有の形成とその変遷

吉野林業史における「借地林業」の再検討について

木曾谷公有地五木調査について

西川林業発生史に関する一考察

——武州秩父郡下名栗村の事例を通して——

尾張藩「年寄」考

並木 誠士

徳川 義宣

千野 香織

山本 泰一

大石慎三郎

コンラッド・タットマン

所 三男

島田 錦蔵

丹羽 邦男

本吉瑠璃夫

藤田 佳久

大島真理夫

加藤 衛拡

林 董一

天明末年における將軍実父一橋治済の政治的役割

——御側御用取次小笠原信喜宛書簡の分析を中心に——

深井 雅海

文久改革期における幕府財政状況

複教寺制の導入と「檀家」の成立

——美濃国交代寄合西高木家の場合——

飯島 千秋
桐原 千文

武威野新田支配政策の特質

——武威野新田養料金併留雜穀制度の展開を中心に——

大友 一雄

〔研究ノート〕

白山麓山村における共有林利用慣行と争論

宇佐美 孝

◇徳川美術館

徳川義直家臣団形成についての考察 (七)

——義直の文治臣僚——

跡部 佳子

徳川家康遺訓「人の一生は」について

徳川 義宣

元禄期における尾張藩士の文芸活動

——朝日重章と「文芸」——

小池 富雄

茶器の銘と名物の成立について

徳川 義宣

近世の大名茶の湯における染付について

大河内定夫

狩野派合作の一作例

——新出の「狩野寄合書」について——

並木 誠士

——基礎資料——

田中訥言の落款について

木下 稔

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

旧名古屋税務監督局所蔵史料目録 一

第十輯 (昭和五十七年度)

◇徳川林政史研究所

「木曾衆」の知行山

所 三男

『地方凡例録』における林業の管理経営の技法

島田 錦蔵

京都市北部大堰川上流地域における林業の展開

本吉瑠璃夫

明治期以降の私有林野における育成林化の動向とその地域類型

藤田 佳久

庄内砂丘における官林・国有林の引戻と行政訴訟

立石 友男

木曾山村氏の尾張干拓事業

——その資金調達をめぐって——

安藤 茂良

熱田御朱印改役について

西田 躬穂

江戸幕府初期の側衆について

——側衆の監察機能のその消滅を中心に——

深井 雅海

張紙値段の決定過程

飯島 千秋

近世末期大坂加番役の実態

——三河田原藩を例に——

松尾美恵子

伊勢国文禄検地の基礎的研究

大石 学

近世前期北遠三倉領における年貢收取

佐藤 孝之

近世日本の林業についての一考察

コンラッド・タットマン

天竜川中流域における育成林化の地域的性格

藤田 佳久

◇徳川美術館

『吉野林業全書』の研究

加藤 衛拡

一連の徳川家康の偽筆 補訂

徳川 義宣

近世江戸周辺農村の機能と性格

大石 学

徳川家康の道中宿付

徳川 義宣

◇徳川美術館

御所本三十六人家集 甲本

僧上遍昭集の奥書について

徳川 義宣

將軍家「御成」について (八)

佐藤 豊三

美濃地方の御深井釉と尾張家御庭焼・御深井窯との関連について

大河内定夫

徳川將軍家の御成 その三——徳川幕府安定期の御成

徳川 義宣

押絵貼屏風試論

並木 誠士

徳川家康の晩年の手習と手本——定家様書道の草創を周って——

徳川 義宣

◇徳川林政史研究所

御所本三十六人家集 甲本

〔所蔵史料目録〕

僧上遍昭集の奥書について 補訂

徳川 義宣

徳川林政史研究所所蔵絵図目録 一

法界門塗の検討——塗師「羽田五郎」の伝唱を周って——

小池 富雄

第十一輯 (昭和五十八年度)

尾張徳川家における仏教遺品の収蔵について——徳川美術館保管の仏画を中心に——

山本 泰一

◇徳川林政史研究所

◇徳川林政史研究所

秀吉・家康領時代木曾白木の生産と流通

所 三男

奥丹後地方における林野利用の変遷 (上)

本吉瑠璃夫

幕末の御用材仕出人信濃屋庄三郎の業態

島田 錦蔵

江戸市場における薪炭流通と幕府の炭会所政策

大友 一雄

——江戸近国御林の役割・機能の一側面——

初期の飛騨国有林下戻運動について

丹羽 邦男

秀吉・家康領時代の木曾王滝村

所 三男

第十二輯 (昭和五十九年度)

◇徳川林政史研究所

幕末の御用材仕出し人信濃屋庄三郎の業態 (II)

——大井川流域の採伐——

島田 錦蔵

田中訥言筆「百花百草図」屏風について

——徳川美術館蔵——

木下 稔

飛驒国有林下戻運動の展開

丹羽 邦男

遊楽図屏風(相応寺屏風)の伝来

——相応院(お亀の方)の遺愛品ではない——

山本 泰一

奥丹後地方における林野利用の変遷(下)

本吉瑠璃夫

十三、四世紀文献に見られる美術・工藝・藝能史料の検討

徳川 義宣

吉野林業論をめぐって

——東吉野村四郷川上流域の育成林化から——

藤田 佳久

美術・工藝・遊藝関係記事抜萃

近世西川林業における材木商経営

脇野 博

項目索引

近世大名の類別に関する一考察

松尾美恵子

第十三輯(昭和六十年)

分与賞典禄の奉還問題について

上野 秀治

——尾張徳川家を例に——

◇徳川林政史研究所

享保期尾張藩における芸能興行について

——美濃国中嶋郡駒塚村を中心に——

水谷 桂子

蝦夷地林業の創始者飛驒屋久兵衛(I)

近世初期大名普請役の動員形態

——寛永六年江戸城普請の場合——

大石慎三郎
松尾美恵子

近世史研究と民俗学

塚本 学

〔史料紹介〕

寛政改革期前後における御庭番の「遠国御用」に関する史料

深井 雅海

幕末の御用材仕出し人信濃屋庄三郎の業態(III)

文久元年の幕府財政史料

飯島 千秋

——買材取引と買材的仕出の仕法——

島田 錦蔵

◇徳川美術館

削紅考

品川 文彦

京都洛北地方における林業の展開(I)

徳川美術館蔵 斎宮女御集の研究

貫 祥子

吉野川上流域における近世の村落構造の性格と育林の展開

——吉野林業の地域形成とその地域構造に関する研究——

藤田 佳久

徳川美術館蔵 斎宮女御集翻刻

近世における鬼怒川上流域の筏流し

阿部 昭

◇徳川美術館

將軍家「御成」について (九)

—まとめ—

佐藤 豊三

徳川義直家臣団形成についての考察 (八)

—まとめ—

跡部 佳子

茶の湯道具と香（香木・薫物）にみられる歌銘の実態と分類について

—和物茶人の歌銘を主として—

大河内定夫

『教言卿記』『教興卿記』に見られる美術・工藝・藝能史料の検討

徳川 義宣

美術・工藝・遊藝関係記事抜萃

項目索引

〔研究ノート〕

伝藤原行能筆「雑筆往来」について

四辻 秀紀

第十四輯（昭和六十一年度）

◇徳川林政史研究所

幕藩権力構造下の材木問屋仲間の行動

島田 錦蔵

林野利用の小商品生産の展開

北條 浩

献上役と村秩序

—勝栗献上をめぐる—

大友 一雄

林材補給策より見た幕府の宿駅経営

飯岡 正毅

近世吉野地方における山元材木商人の活動

泉 英二

江戸地廻りの山村の豪農経営

—武州西川町田家を中心として—

加藤 衛拓

〔研究ノート〕

材木（石）奉行並びに林奉行の就任者について

深井 雅海

〔史料紹介〕

豊臣期における普請・作事用材の伐り出し・運搬に関する史料

—石河家文書・一柳家文書の豊臣秀吉朱印状より—

松尾美恵子

◇徳川美術館

尾張藩主徳川慶勝自筆写本

「阿蘭陀機密風説書」の研究

岩下 哲典

史料編

徳川林政史研究所蔵

徳川慶勝自筆写本

「阿蘭陀機密風説書」

明倫博物館

—尾張徳川家の経営した博物館—

徳川 義宣

尊円親王筆「西塔院勸学講法則」について

—金銀泥下絵のある料紙装飾の受容背景を中心に—

四辻 秀紀

千代姫の金器

—初音の調度に伴う黄金の婚礼道具の伝来—

小池 富雄

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵絵図目録 二

第十五輯 (昭和六十二年度)

◇徳川林政史研究所

蝦夷地林業の創始者飛騨屋久兵衛 (Ⅱ)

幕末期関東筋御林の機能と支配

——御林手入方掛の分析を通じて——

地租改正における焼畑の把握

日本近代林政史序説

京都洛北地方における林業の展開 (Ⅱ)

吉野山村の村落結合と領域認識 (上)

——吉野林業地域形成の基礎論的考察——

山稼の村と「御免許稼山」

——上州山中領を事例として——

都市日光の曲物職仲間と地域秩序

——近世後期における門前町の林業・手工業と地域経済について——

〔研究ノート〕

近世の越中を中心とした薪木呂の生産流通

近世北遠地域における「山地」利用の諸形態

——大居山中の場合——

◇徳川美術館

室町時代の贈答刀剣について

「破来頓等絵巻」について

——時衆の教義の絵画化——

燕子花圖屏風の三次元的構圖

菊の白露蒔絵調度について

——加賀前田家四代光高夫人亀姫の婚礼調度——

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵絵図目録 三

第十六輯 (昭和六十三年度)

◇徳川林政史研究所

京都における松茸採取の史的変遷

——入会との関係を重視して——

近世初期における建築様式の転換と吉野林業

貞享〜正徳期関東筋幕府林の支配状況

——利根川水系の平地林地帯を中心に——

秩父山地における幕府の山林支配と生業

——近世村落共同体の再検討 (Ⅰ)——

村落による陵墓古墳の利用様態

——山野としての墳丘部——

吉野山村の村落結合と領域認識 (下)

——吉野林業地域形成の基礎論的考察——

江戸材木問屋仲間の紛争と負担公役

近世の献上儀礼にみる幕藩関係と村役

——時献上・尾張藩蜂屋柿を事例に——

徳川 義宣

小池 富雄

大石慎三郎

大友 一雄

丹羽 邦男

北條 浩

本吉瑠璃夫

藤田 佳久

関戸 明子

佐藤 孝之

澤登 寛聡

高瀬 保

山本 英二

山本 泰一

佐藤 豊三

泉 英二

酒井 右二

本吉瑠璃夫

泉 英二

酒井 右二

本吉瑠璃夫

泉 英二

酒井 右二

本吉瑠璃夫

泉 英二

酒井 右二

本吉瑠璃夫

泉 英二

酒井 右二

本吉瑠璃夫

泉 英二

酒井 右二

〔研究ノート〕

天保期以降の林奉行就任者について

——『柳宮補任』の掲載者を中心に——

深井 雅海

◇徳川美術館

源氏物語絵巻の詞書料紙にみられる装飾について

四辻 秀紀

不空羅索観音像の描かれた春日曼荼羅図

渡辺 里志

——徳川美術館本春日曼荼羅図について——

渡辺始興の写生絵画への関心について

森 久美子

冷泉為恭筆「雪月花図」について

内藤 依子

寛永十六年六月吉日 幸阿弥清三郎良尚筆

「御手道具蒔絵之御注文」の研究

小池 富雄

『歴代宸記』・『伏見天皇宸記』・『花園天皇宸記』に見られる

徳川 義宣

美術・工藝・藝能史料の検討

美術・工藝・遊藝関係記事抜萃

索引項目

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵絵図目録 四

第十七輯（平成元年度）

◇徳川林政史研究所

所 三男 遺影

同略歴、主要編著書

飛驒屋久兵衛倍行の林業経営

大石慎三郎

近世白山争論と白山麓幕領の成立

見瀬 和雄

——大名領知権の性格をめぐって——

元禄期の山野争論と村

白川部達夫

小生産者と村落共同体

泉 英二

——吉野地方山元材木商人の検討を通して——

江戸城御用炭上納村落における村方騒動

君塚 仁彦

幕藩体制下の江戸材木商の商体

島田 錦蔵

日本近代林政史序説 (二)

北條 浩

北海道八雲町における農村美術運動

大石 勇

——大正十三年第一回農村美術工芸品評会を中心に——

〔史料紹介〕

幕府御林奉行山岡伊織著「諸木間見録・諸木養育録」

大友 一雄

◇徳川美術館

熊沢五六 遺影

同略歴、主要編著書

徳川家康が欧州に贈った甲冑

佐藤 豊三

——オーストリア アンブラス城館の二領を中心に——

伊勢湾沿岸地域 請求仏画調査報告 一

新出の唐本阿弥陀三尊来迎図について

山本 泰一

——快慶作 播磨浄土寺阿弥陀三尊像の本様か——

茶入考 序説

徳川 義宣

過渡期の唐織

佐藤 理恵

——初音の調度に含まれる染織品から——

徳川秀忠詞筆
名古屋市蓬左文庫所蔵

「源氏物語画帖」について

四辻 秀紀

第十八輯 (平成二年度)

◇徳川林政史研究所

信州佐久郡における林野争論

須田 肇

——比田井山山論の場合——

信州佐久郡における林野争論 (二)

須田 肇

木曾林業にみる享保改革の歴史的位

山本 英二

——尾張藩の役負担をめぐって——

尾張藩の歴史編纂事業と木曾の百姓控山

山本 英二

飛驒山林行政訴訟の一例

丹羽 邦男

日本近代林政史序説 (三)

北條 浩

徳川義親と八雲町の農村美術運動

大石 勇

——大正末期北海道八雲町における農村美術運動の展開——

幕藩体制下の江戸材木商の商体 (二)

島田 錦蔵

茶の消費史研究序説

田中 秀隆

——「茶の湯」への社会学的視座——

伝統工芸「熊彫」の創生

大石 勇

徳川慶勝の写真研究と撮影写真 (上)

岩下 哲典

茶道の記号化と昭和四年

田中 秀隆

◇徳川美術館

梨子地蓮弁散時絵舎利厨子 (徳川美術館所蔵) について

渡辺 里志

——壁扉に描かれた絵画を中心に——

徳川慶勝の写真研究と撮影写真 (下)

岩下 哲典

初花肩衝の傳來について

徳川 義宣

◇徳川美術館

將軍家使者饗応についての一考察

佐藤 豊三

伊勢湾沿岸地域 請来仏画調査報告 二

新出の年紀銘のある李朝仏画

沖繩縣

伊是名島傳存の丸櫃について

近世初期、渡来裂利用の一側面

綸子陣羽織二例を中心に

仮面の象徴性

——文化人類学的視点より——

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵写真資料目録 一

第二十輯 (平成四年度)

徳川義知 遺影

同 略歴

◇徳川林政史研究所

江戸城本丸御殿図に見る中奥・表向・大奥 (上)

——その変遷を中心に——

信州佐久郡における林野争論 (三)

——安永期のわみ山論を中心に——

徳川義親と八雲町の「熊彫」

論所裁許の数量的考察

山本 泰一

徳川 義宣

森 理恵

藤田 京子

寛文検地と切替畑

——武州西川地方における「山」利用と林野所持——

光友夫人死去に伴う公儀付人の召返しについて

近世堂上家家臣の編成形態について

——清華・広幡家の家臣を事例として——

尾張徳川家の江戸屋敷から東京邸への変遷について

日本近代林政史序説 (五)

小宮豊隆の茶道受容をめぐって (二)

——近代的芸術観と伝統文化理解——

〔史料紹介〕

〔南北武蔵野新田養料金始末書〕

◇徳川美術館

〔青蓮院稚児草紙絵巻〕について

徳川家康の衣服

——小袖・胴服・羽織・能小袖——

黒漆葵紋散牡丹唐草蒔絵調度について

——近衛基前夫人維君の婚礼調度——

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵写真資料目録 二

加藤 衛拡

大塚 英二

箱石 大

岩下 哲典

北條 浩

田中 秀隆

大友 一雄

四辻 秀紀

徳川 義宣

小池 富雄

大石 勇

山本 英二

第二十一輯 (平成五年度)

◇徳川林政史研究所

江戸城本丸御殿図に見る中奥・表向・大奥(中)

——その変遷を中心に——

深井 雅海

大正十三年、徳川義親の貴族院改造運動

——徳川義親「貴族院改造私見」を中心に——

大石 勇

幕藩制後期論所裁許と政治主義

——寛政二年上武国境争論を事例に——

山本 英二

佐久間象山と香野山林騒動

北條 浩

〔研究ノート〕

尾張徳川家の江戸屋敷・東京邸とその写真

岩下 哲典

◇徳川美術館

徳川家康の遺金と御三家への分與金

徳川 義宣

將軍家斉の戸山屋敷「御通拔」について

佐藤 豊三

「善無畏三蔵絵巻」詞書断簡について

平塚 泰三

伊勢湾沿岸地域 請求仏画調査報告 三

水陸画 中国道釈画の一遺例

山本 泰一

——熱田・正覚寺蔵「玉女・月宮天子・毘沙門天蔵」三幅本——

徳川美術館所蔵の古瓦

——愛知県史蹟名勝天然記念物調査会旧蔵資料の報告——

梶山 勝

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所蔵写真資料目録 三

第二十二輯 (平成六年度)

◇徳川林政史研究所

江戸城本丸御殿図に見る中奥・表向・大奥(下)

——その変遷を中心に——

深井 雅海

太平洋戦時下の昭南島

——第二十五軍最高軍政顧問徳川義親と軍政——

大石 勇

日本近代林政史序説 (六)

北條 浩

小宮豊隆の茶道受容をめぐって (二)

——近代的芸術観と伝統文化理解——

田中 秀隆

近世国家における人参栽培と薬師信仰

——尾張藩菜園から日光山に献上された人参——

岩下 哲典

尾張藩付家老成瀬正成に関する一考察

成瀬 律子

〔史料紹介〕

『藤高新田根元記』の翻刻と紹介

——尾張藩海浜新田開発の記録——

須田 肇

下野国黒羽藩の山林書『太山の左知』関連史料

加藤 衛拡

〔客員研究員報告〕

日中両国の比較倫理研究

クルト・W・ラトケ

◇徳川美術館

自筆文書の意義と認識形成について

——徳川家康文書と日課念佛を例に——

徳川 義宣

〔箔絵〕考

綾杉地獅子牡丹蒔絵調度について

——近世大名婚礼調度の所用者の再検討——

四辻 秀紀
小池 富雄

〔研究ノート〕

尾張徳川家演能の研究(一)

藤田家蔵「御能御囃子留」について

山川 暁

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵写真資料目録 四

『金鱗叢書』史学美術史論文集 掲載論文目録

旧感應寺境内遺跡(徳川ドーミトリー西館部分)発掘調査報告

旧感應寺境内遺跡発掘調査団

第二十三輯(平成七年度)

◇徳川林政史研究所

江戸城本丸御殿図に見る中奥・表向・大奥(下の二)

——その変遷を中心に——

深井 雅海

シンガポールにおける日本の軍政

——東南アジア民俗理解への道と軍政の相克——

大石 勇

日本近代林政史序説(七)

明治初年における官林経営の形成過程

——三重県度会御料林の形成前史——

北條 浩
成田 雅美

芸術としての茶と身体

——点茶七要論とシステムの視点——

田中 秀隆

江戸時代の国産葡萄酒に関する新出史料をめぐって

——近世大名と葡萄酒の歴史——

岩下 哲典

戊辰戦功賞典取調べについて

上野 秀治

〔史料紹介〕

「旧御支配所十ヶ年間収米表」の紹介

——嘉永五年から文久元年の尾張藩蔵入地年貢収米——

須田 肇

〔書評〕

藤田佳久著『日本・育成林業地域形成論』(古今書院、一九九五年)

加藤 衛拡

◇徳川美術館

描かれた茶の湯

——館蔵「琴棋書画図」四幅対をもとにして——

佐藤 豊三

尾張徳川家初代義直の儒学尊崇とその遺品について

山本 泰一

清原雪信筆「源氏物語画帖」について

岩田 美穂

徳川美術館蔵「なくさみ草絵巻」について(上)

——『徒然草』を題材とした絵巻の一例——

平塚 泰三

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵写真資料目録 五

第二十四輯（平成八年度）

◇徳川林政史研究所

東南アジアの視座から見た太平洋戦争

日本近代林政史序説（八）

茶道史の創成

——山上宗二の語る伝統——

近世後期における尾張藩主の側薬と薬園

——藩主側近の職務日記にみる薬・薬園と藩主・藩士・領民——

〔史料翻刻〕

『伊藤次郎左衛門・内田忠次郎拝借金一件留』

——安政三・四年尾張藩御小納戸金貸付の一事例——

◇徳川美術館

徳川家康と甲州金

——天神瓦を中心に——

尾張徳川家演能の研究（二）

大倉七左衛門家蔵「能囃子組」にみる尾張徳川家の演能

——二代光友・三代綱誠の時代——

近世大名の「装束」について（上）

——徳川美術館収蔵品を中心に——

大石 勇

北條 浩

田中 秀隆

岩下 哲典

須田 肇

徳川 義宣

山川 暁

並木 昌史

平安時代の調度手本にみられる唐紙・蠟牋についての一考察 四辻 秀紀

メトロポリタン美術館収蔵

「粟に小禽図屏風」をめぐる諸問題

千代姫の形見分

——名古屋大学所蔵大道寺家文書にみる——

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵 尾張国熱田旗屋町岡本家文書目録

徳川林政史研究所所蔵写真資料目録 六

第二十五輯（平成九年度）

◇徳川林政史研究所

昭和恐慌と凶作の東北農村

——北海道農民が観た凶作地——

島崎藤村『夜明け前』における木曾山林事件の背景としての
文学的イデオロギーの側面

利根川の治水工法と中川流域の水環境の総合的研究

近世甲斐国の竹御林と力者（上）

——幕藩制国家の林野政策と環境問題の視点から——

〔研究ノート〕

鳴海村村方騒動と文書引き渡し史料

平岡円四郎の「慶喜公言行私記」について

——安政四年の將軍継嗣問題と慶喜神話をめぐる一史料——

小林由紀子
小池 富雄

大石 勇

北條 浩

尾白 和昭

山本 英二

須田 肇

岩下 哲典

〔史料翻刻〕

御庭番川村清兵衛脩正の「九州筋御用之節手留」

深井 雅海

◇徳川美術館

山城伏見大光明寺再建勸進書立について

徳川 義宣

享保時代における尾張徳川家の蔵帳整理について

佐藤 豊三

近世大名の「装束」について(下)

並木 昌史

——徳川美術館収蔵品を中心に——

伊勢湾沿岸地域 請求仏画調査報告 四

北斗信仰の李朝仏画

山本 泰一

——吉良町宝珠院蔵「七星図」——

徳川美術館蔵「歌舞伎図巻」について

岩田 美穂

〔研究餘録〕

徳川美術館保管

蔵帳の辿つた途

徳川 義宣

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵写真資料目録 七

第二十六輯(平成十年度)

◇徳川林政史研究所

日本近代林政史序説(九)

北條 浩

近世甲斐国と竹御林と力者(下)

山本 英二

——幕藩制国家の林野政策と環境問題の視点から——

徳川一門付家老の成立過程と駿府政権

白根 孝胤

岡倉天心の美術主義的文明論

田中 秀隆

——「東洋の理想」の構想力——

〔史料紹介〕

尾張藩北越出兵関係史料

須田 肇

〔所蔵史料影印〕

「御材木川狩之図」

◇徳川美術館

伝源俊頼筆「民部類切」と『如意宝集』について

四辻 秀紀

「堤中納言集」の傳來について

徳川 義宣

堆朱楊成による唐物漆器の鑑定

小池 富雄

尾張徳川家演能の研究(二三)

大倉七左衛門家蔵「能囃子組」にみる尾張徳川家の演能
——四代吉通・五代五郎太の時代——

山川 暁

第二十七輯(平成十一年度)

◇徳川林政史研究所

上州山中領における「山守」制の成立と再編

佐藤 孝之

「関東郡代」の呼称と職制

太田 尚宏

——幕府代官伊奈氏の支配構造解明の前提として——

日本近代林政史序説 (十)

北條 浩

寛文期尾張藩の政治構造と「年寄制」の確立

白根 孝胤

幕藩体制の形成過程と大名江戸藩邸

渋谷 葉子

——尾張藩を中心に——

尾張藩出入百姓中村甚右衛門家の庭園掃除御用

安藤優一郎

——市谷屋敷・戸山屋敷庭園を事例として——

尾張藩「御医師」の基礎的研究(上)

岩下 哲典

——寛永期より宝暦期まで、二〇三人の履歴から——

岡倉天心のメタ・ナシヨナリズム

田中 秀隆

——『日本の覚醒』の分析力——

戦時中の史料保存

須田 肇

——徳川林政史研究所所蔵史料の疎開——

◇徳川美術館

徳川義直と寛永の文化人

佐藤 豊三

近世大名の官位と故実に関する一考察

並木 昌史

——紫組懸緒許状をめぐって——

伊勢湾沿岸地域 請求仏画調査報告 五

山本 泰一

——いわゆる逆手来迎印の阿弥陀如来像を中心に——

田中訥言と尾張のパトロン

吉川 美穂

——田中訥言研究(二)——

〔史料紹介〕

加藤忠廣より安藤直次に遺れる書状(寛永七年六月七日)

徳川 義宣

〔史料紹介〕

春日局(お福・齊藤氏)より東福門院附權大納言局(橋本氏)に遺れる消息(寛永十年十一月十三日)

徳川 義宣

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵 旧蓬左文庫所蔵史料目録(上)

第二十八輯(平成十二年度)

◇徳川林政史研究所

紀伊国屋文左衛門の実像

竹内 誠

天明八年の幕府財政

飯島 千秋

幕府代官伊奈氏の歴史的性格

太田 尚宏

日本近代林政史序説(十一)

北條 浩

近世大名家臣の隠居・家督・継目御礼と家格認識

白根 孝胤

尾張藩御用聞中村甚右衛門家の馬飼料調達御用の展開

安藤優一郎

尾張藩「御医師」の基礎的研究(中)

岩下 哲典

——宝暦期より天保期まで、一四四人の履歴から——

〔史料紹介〕

「御記録調方之心得帳」の翻刻と紹介
「御記録調方追々伺等覚」

須田 肇

——尾張藩御記録編さん事業の史料——

◇徳川美術館

跋趾金欄手壽之字御香合青薬搗茶

——我が國最初の赤繪金欄手か——

徳川 義宣

伝藤原公任筆「大色紙」の構成について

——池田光政筆「古筆臨模聚成」の紹介をかねて——

四辻 秀紀

黒漆葵紋瓜蒔絵懸盤・椀

——性高院所蔵・松平忠吉所用の膳碗類について——

小池 富雄

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所蔵 旧蓬左文庫所蔵史料目録（中）

第二十九輯（平成十三年度）

◇徳川林政史研究所

幕府代官伊奈氏の貸付金政策と家中騒動

太田 尚宏

日本近代林政史序説（十二）

北條 浩

山村豪農の問題関心と情報収集

——武蔵国秩父郡上名栗村平沼家「古今稀成年代記」を中心に——

加藤 衛拔

近世吉野地方の材木生産の発展

谷 彌兵衛

元録・享保期の尾張積大坂行材木輸送と熱田船問屋

曲田 浩和

尾張藩による木曾川川並支配について

——流材管理を中心に——

林 順子

尾張藩「御医師」の基礎的研究（下）

——慶安期より天保期までの金瘡御医師、扶持人医師について——

岩下 哲典

旧尾張藩書籍の引き継ぎと払い下げ

——師範学校から民間へ——

須田 肇

岡倉天心の日本文化論

——「茶の本」の対位法——

田中 秀隆

◇徳川美術館

宛所が徳川家康自筆の知行宛行状について

——新出の松平太郎八宛黒印状を中心に——

山本 泰一

保科正之の子女の入興

徳川 義宣

新出の「東福門院入内図屏風」について

吉川 美穂

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所蔵 旧蓬左文庫所蔵史料目録（下）

徳川林政史研究所蔵 渡辺半蔵家文書目録

第三十輯（平成十四年度）

◇徳川林政史研究所

飛騨国山林地域における元伐生産と御樽木方地役人

——宝暦期を中心に——

太田 尚宏

近世前期の争論絵図と裁許

——関東地域における山論・野論を中心に——

宮原 一郎

尾張藩による古家材移送および家作事の管理

林 順子

飛驒国山林地域における食糧確保と高山役所

太田 尚宏

近世大名家臣の官位叙任と幕藩権力

白根 孝胤

近世伊那谷における榑木成村支配の様相

田原 昇

——尾張家を中心に——

——千村平右衛門預所を事例として——

尾張藩「御医師」の幕末維新(上)

岩下 哲典

近世前期の幕府裁許と訴訟制度

宮原 一郎

——藩医の変動期対応形態の研究——

——関東地域における山論・野論を中心に——

信長茶会の政治的意図再考

田中 秀隆

天皇即位における「諸大夫」年寄と公武関係

白根 孝胤

——尾張家を中心に——

〔史料紹介〕

尾張藩邸・御殿の概略・変遷に関する史料

尾張藩「御医師」の幕末維新(中)

尾張藩江戸上屋敷の殿舎と作事

岩下 哲典

◇徳川美術館

尾張藩江戸上屋敷の殿舎と作事

岩下 哲典

古田重然と織部

徳川 義宣

——一七世紀前半の様相——

徳川義直と寛永文化人(続編)

佐藤 豊三

〔史料紹介〕

徳川美術館所蔵「芒に月蒔絵貝桶付属合具」について

龍澤 彩

大久保村御抱屋敷御讓請一卷

佐藤 豊三

近世後期の江戸武家歌壇に関する一考察

並木 昌史

◇徳川美術館

佐藤 豊三

——色紙・短冊貼り交ぜ手鑑帖「言葉の林」をめぐる——

名物刀剣の銘について

◇徳川林政史研究所

本能寺の変と茶会

田中 秀隆

〔所蔵史料目録〕

——松山吟松庵・茶会予告説の復権——

徳川林政史研究所所蔵 飛驒国山林史料目録

「法華経冊子」の成立年代をめぐる

四辻 秀紀

徳川林政史研究所所蔵 大道寺家文書目録

——使用された料紙からのアプローチ——

国宝「初音の調度」の蒔絵技法に見る特質

小池 富雄

——梨子地と彫金の施工過程を中心に——

第三十一輯(平成十五年度)

◇徳川林政史研究所

研究ノート

尾張徳川家の幕末期における什宝（収蔵品）

の種類と数量について（一）—— 絵画・書跡編 ——

山本 泰一

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵 千村平右衛門関係史料目録

徳川林政史研究所所蔵 「古案」収録史料細目

第三十二輯（平成十六年度）

◇徳川林政史研究所

大石慎三郎名譽所長 遺影 略歴

法令の伝達と將軍吉宗の主導

—— 享保前期「仰出之留」を素材に ——

深井 雅海

御三家の官位叙任と幕藩権力

—— 尾張家を中心に ——

白根 孝胤

長崎奉行兼帯勘定奉行石谷清昌による差木事業

—— 信州伊那山を事例に ——

田原 昇

首都近郊山村確立期における来訪者とその役割

—— 埼玉真秩父郡名栗村植田屋宿帳の分析を中心に ——

加藤 衛拡

近世における御用材漂着の收拾について

—— 知多半島を中心に ——

林 順子

天保改革期における幕府交通政策と地域社会

—— 五街道取締を事例に ——

坂本 達彦

尾張藩「御医師」の幕末維新（下）

—— 藩医の変動期対応形態の研究 ——

岩下 哲典

〔研究ノート〕

木曾御遷木山をめぐる伊勢両宮と尾張藩

—— 文化六年遷宮の事例を中心に ——

太田 尚宏

〔史料紹介〕

徳川慶勝写真研究関連史料

◇徳川美術館

皇紀二千六百年の利休

—— 秀吉の近代的受容を手がかりに ——

田中 秀隆

徳川義直と廣幡忠幸

並木 昌史

「藤袋草子絵巻」について

龍澤 彩

徳川美術館蔵「歌舞伎図巻」にみる流行のさきがけ

—— 男性の髪型と服装の関連に着目して ——

森 理恵

名古屋東照宮所蔵「東照宮縁起絵巻」の製作背景について

鎌田 純子

幕末期における公武の女性の服制について

吉川 美穂

—— 新出の染織資料を中心に ——

尾張徳川家演能の研究（四）

大倉七左衛門家蔵「能囃子組」にみる尾張徳川家の演能

—— 六代継友の時代 ——

山川 暁

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録(一)
徳川林政史研究所所蔵 石河家文書目録(一)

第三十三輯(平成十七年度)

徳川義宣遺影
同 略歴

◇徳川林政史研究所

国有林史料の調査と近世・近代史研究への展望

尾張藩木曾林政享保改革後の領民営農と切畑

幕末期木曾山間地域における定助郷設置運動の展開

幕末・維新时期における尾張家の撮影写真と技術開発

伊勢湾における難船とその処理について

〔中部森林管理局所蔵史料調査報告〕

中部森林管理局所蔵史料調査の記録

内務省直轄官林における樹実採拾活動について
——明治十三年「樹実採拾一件」の事例から——

明治前期長野県における入林鑑札について

明治前期における森林監守人の活動
——飯田出張所を事例に——

近代木曾林業と第二回内国勸業博覧会
——「第二回内国勸業博覧会関係文書」より——

田原 昇

〔研究ノート〕

尾張徳川家の奥女中
——十二代藩主斉荘御簾中・貞慎院と御付女中を中心に——

畑 尚子

〔史料紹介〕

「埼玉縣造林事業報告」について

大館 右喜

徳川慶勝写真研究関連史料(二)

◇徳川美術館

三つの紹鷗茄子
——「大正名器鑑」の方法と遺産——

田中 秀隆

尾張徳川家蔵帳にみる唐物染付の名称

佐藤 豊三

諸家所蔵の菊桐紋蒔絵風呂桶類について
——豊臣秀吉所用とする伝承の検討と初期高台寺蒔絵の編年論として——

小池 富雄

〔研究ノート〕

尾張徳川家の幕末期における什宝(收藏品)の種類と数量について(二)
——陶磁器・硝子器編——

山本 泰一

〔資料紹介〕

大治元年八月 摂政左大臣家歌合
——新出の廿卷本類聚歌合の紹介をかねて——

四辻 秀紀

坂本 達彦

山崎 久登

太田 尚宏

太田 尚宏

林 順子

白根 孝胤

坂本 達彦

大崎 晃

加藤 衛
太田 尚宏

◇徳川林政史研究所

〔徳川林政史研究所所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録 (二)

第三十四輯 (平成十八年度)

◇徳川林政史研究所

山村甚兵衛家による木曾山林支配の様相

——御関所御預と植林との関係から——

木曾山における森林保護と巢山・留山再考

——尾張藩の享保林政改革前を中心に——

御三家における縁戚関係の形成と江戸屋敷

——尾張家を中心として——

〔研究ノート〕

近世木曾材の伐木・運材の史料について(上)

——享保の林政改革期に成立した史料をめぐって——

〔調査報告〕

九州森林管理局所蔵史料調査の記録 (一)

◇徳川美術館

無住子筆「朝陽対月図」対幅の主題と作者

「源氏物語絵巻」賢木巻の情景選択に関する一考察

徳川將軍家の装束資料

——高倉家伝来遺品を中心に——

甲子園学院所蔵「鼠の草子絵巻」について

尾張家十四代慶勝が購入した浮世絵

——名古屋蓬左文庫蔵「内密御買上物留」を中心に——

川面版源氏物語絵巻について

◇徳川林政史研究所

〔所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録 (三)

徳川林政史研究所所蔵 石河家文書目録 (二)

第三十五輯 (平成二十年度)

◇徳川林政史研究所

木曾山における年貢木制廃止後の漆木植栽策考

——尾張藩の享保林政改革を中心に——

近世木曾山における「新規立林」成立の様相

——百姓控山林と雑木植林に関する一考察——

飛騨幕領における植林政策の展開

——天保・嘉永期を中心に——

上州山中領における御巢鷹山と山林政策の変遷 (上)

成立期の評定所

——十七世紀前半の山論・野論を中心に——

参勤交代における「万石以上」家臣の身分と格式

——尾張家を中心に——

龍澤 彩

吉川 美穂

香山 里絵

田原 昇

大崎 晃

白根 孝胤

安藤 茂良

太田 尚宏

志賀 太郎

稲本万里子

並木 昌史

大崎 晃

田原 昇

高橋 伸拓

佐藤 孝之

宮原 一郎

白根 孝胤

東海道筋における尾張藩の「勤王誘引」活動

——「勤王誘引書類」の分析を中心に——

上野 恵

〔調査研究活動報告〕

国有林史料の保存と活用について

——全国森林管理局所蔵史料調査の全記録——

徳川林政史研究所編

I 全国森林管理局所蔵史料調査の取り組み

太田 尚宏

II 研究報告会「国有林史料の保存と活用について」

国有林史料の保存経緯と所在調査

加藤 衛 拓

官林の直轄化と秋田県

成田 雅美

御料林の形成・展開と木曾地方

田原 昇

九州森林管理局調査と所蔵史料の特徴

太田 尚宏

「国有林史料の保存と活用について」に参加して

坂本 達彦

III 国有林史料の「恒久的保存」実現へ

太田 尚宏

〔書評〕

加藤衛拓著『近世山村史の研究

江戸地廻り山村の成立と展開』

西 光三

◇徳川美術館

秀吉茶会における信長継承戦略

——『天王寺屋会記』の「茶堂」を手がかりに——

田中 秀隆

小サ刀考

佐藤 豊三

賢聖障子の研究

——寛政度を中心に——

鎌田 純子

石山寺蒔絵源氏物語書物篋筒（根津美術館・重要美術品）について

——源氏物語書物篋筒の系譜——

小池 富雄

庭訓往来天理図書館蔵宝徳三年書写本

——翻刻・異同・影印——

小木曾千代子

◇徳川林政史研究所

〔徳川林政史研究所所蔵目録〕

徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録（四）

徳川林政史研究所所蔵 石河家文書目録（三）

徳川林政史研究所所蔵 「勤王誘引書類」目録

第三十六輯（平成二十一年度）

◇徳川林政史研究所

尾張藩御林の管理・利用形態と茸狩

白根 孝胤

木曾山庄屋の村外本伐請負と袖日用の出持

——尾張藩享保林政改革を中心に——

大崎 晃

飛驒幕領における木材資源の枯渇と植林政策

——享保・延享期を中心に——

高橋 伸拓

上州山中領における御巢鷹山と山林政策の変遷（下）

佐藤 孝之

尾張家一四代徳川慶勝の藩政改革と櫛木植栽

藤田 英昭

〔研究ノート〕

秋田藩林政と森林資源保続の限界

脇野 博

◇徳川美術館

長篠・長久手合戦図屏風の製作背景

尾張徳川家伝来「羅生門絵巻」について

新発見の「源氏物語絵巻 桐壺」

——製作背景とその特質——

◇徳川林政史研究所

〔徳川林政史研究所所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録(五)

徳川林政史研究所所蔵 石河家文書目録(四)

第三十七輯(平成二十二年度)

◇徳川林政史研究所

近世後期における尾張家の植栽空間と大名庭園

飛驒幕領における休山策と元伐生産の変容

——明和期を中心に——

飛驒幕領における元伐稼と山方村々「相続方」

——嘉永・安政期の御材木伐出方改正一件を事例に——

北海道開拓の発端と始動

——尾張徳川家の場合——

將軍姫君の公儀付人・女中について

——尾張藩主徳川斉朝夫人淑姫の事例から——

原 史彦

龍澤 彩

吉川 美穂

◇徳川美術館

〔史料紹介〕

新出史料「前田利長書状堀秀治宛」「堀家文書」

「徳川秀忠書状越前宰相(結城秀康)宛」について

《バイユーのタピスリー》と絵巻物

——比較芸術学の試み——

名古屋城二之丸御殿障壁画楽盤図に関する一考察

——修理報告をかねて——

シンポジウム「『東山御物』への視覚—宝物と同朋衆—」報告

◇徳川林政史研究所

〔徳川林政史研究所所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録(六)

徳川林政史研究所所蔵 石河家文書目録(五)

第三十八輯(平成二十三年度)

◇徳川林政史研究所

伊勢遷宮用材の伐木・運材事業と山方村々(上)

——文久二年の湯舟沢村を事例として——

木曾谷における旧領主控山林の成立と展開

——黒川村「五貫文山」「三貫文山」を事例に——

近世後期木曾山持の村における構造変化

——尾張藩林政と幕末時代状況を中心に——

原 史彦

永井 繁樹

吉川 美穂

白根 孝胤

高橋 伸拓

太田 尚宏

藤田 英昭

吉成 香澄

太田 尚宏

田原 昇

大崎 晃

近世阿仁銅山炭木山における御用炭生産

——直釜の構造とその変容——

芳賀 和樹

東北森林管理局所蔵史料の構成と特徴

近世中期における御用炭請負山村の食糧確保

——武蔵国秩父郡大野村を事例に——

成田 雅美
栗原 健一

幕末期名古屋周辺の御留川支配と御川守

明治初年における徳川慶勝の動向と撮影写真

山崎 久登
白根 孝胤

〔研究ノート〕

一九世紀秋田藩林政と近代の秋田杉

脇野 博

〔書評〕

飯能市名栗村史編集委員会編『名栗の歴史（上）（下）』

——山村研究の総合化に向けて——

高橋 伸拓

◇徳川美術館

建中寺所蔵の二挺の女乗物

——所有者の再検討と漆工史的位置——

小池 富雄

名古屋城西南隅櫓倒壊時期について

井上 光夫

〔史料紹介〕

新出史料「徳川家康自筆書状 称津松鶴軒宛」について

原 史彦

〔史料紹介〕

加藤清正書状 下川又左衛門宛（文禄二年）八月八日

——加藤光泰の朝鮮からの帰国と清正の鉄砲調達——

中島 雄彦

シンポジウム「初音の調度の秘密」報告

◇徳川林政史研究所

〔徳川林政史研究所所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵尾張徳川家文書目録（七）

徳川林政史研究所所蔵石河家文書目録（六）

第三十九輯（平成二十四年度）

◇徳川林政史研究所

伊勢遷宮用材の伐木・運材事業と山方村々（下）

——文久二年の湯舟沢村を事例として——

太田 尚宏

尾張藩における美濃・木曾産物の利用と領民

——熊胆・美濃茶・末川蕪を事例に——

白根 孝胤

文化期における秋田藩能代木山の林政改革への着手

——木山方吟味役小野崎又兵衛の調査・献策を中心に——

芳賀 和樹

飛驒山における官民有区分の様相

——旧筑摩県管下を視野に——

田原 昇

幕領・飛驒国の民家普請における「家作木」の規制について

中村 琢巳

近世山村の猟師と村方騒動

——武蔵国秩父郡大野村の猟師市左衛門を事例に——

栗原 健一

検地帳に基づく壬申地券の発行とその役割

——江戸・東京近郊山村を例に——

加藤 衛拡

◇徳川美術館

建中寺蔵 板谷慶舟広当筆「釈迦三尊・五百羅漢図」の製作事情

——徳川宗睦との関わりを中心に——

吉川 美穂

建中寺所蔵尾張徳川家の色絵犀形香炉

大橋 康二

春日大社蔵「唐子遊図貝桶」および絵具・歌貝について

龍澤 彩

徳川家康着用麻浴衣の復元製作報告

並木 昌史

◇徳川林政史研究所

〔徳川林政史研究所所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録（八）

徳川林政史研究所所蔵 石河家文書目録（七）

第四十輯（平成二十五年）

◇徳川林政史研究所

尾張家における御菜園・御菜園の利用と実態

白根 孝胤

近世木曾山林業の本伐仕出と商業資本

——尾張藩林政享保改革前の仕出元締庄屋と材木商人——

大崎 晃

飛騨幕領における白木椽の展開

高橋 伸拓

文化期秋田藩能代木山における林政改革の展開

——林政執行体制の整備を中心に——

芳賀 和樹

廃藩置県後の官林伐木規制

成田 雅美

「登城道筋之図」と尾張藩市谷屋敷

洪谷 葉子

——その抹消された痕跡を読む——

大正・昭和初期における徳川農場の理念と実践

藤田 英昭

〔史料紹介〕

「明治五壬申年調官林盛衰概略考」の解題と翻刻

——秋田県官林が秋田藩宮林から継承した森林資源の記録——

加藤 衛
芳賀 和樹

◇徳川美術館

松花堂昭乗の歌仙絵について

加藤 祥平

復古大和絵派と近世大和絵

——浮田一恵と土佐派の源氏絵を中心に——

薄田 大輔

尾張徳川家「御衣紋方」について

——「御衣紋方御用留」にみる尾張徳川家当主の儀礼と服飾——

並木 昌史

◇徳川林政史研究所

〔徳川林政史研究所所蔵史料目録〕

徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録（九）

徳川林政史研究所所蔵 石河家文書目録（八）

徳川林政史研究所所蔵 日本林制史調査資料目録——仙台藩（二）

〔金鯢叢書〕史学美術史論文集 掲載論文目録